



弊社では障害の有無に関わらず、社員のメンタルヘルスマネジメントの一環として定期的に心理士の面談を実施しており、当事者の皆さんの意見や困り事なども話しやすい環境を整えています。また、組織としても風通しの良さを大切に考えており、何か困ったことや悩みがあった場合は、上司や仲間相談しやすい雰囲気をつくっています。社員は会社の財産です。誰もが働きやすい土壌をつくることで、企業もそこで働く人も継続的に成長することができるのだと考えています。

現在、国が定めた法定雇用率に従い、「障害者雇用」を推進している企業も多いと思いますが、まずはどのような事例や課題があるのか、セミナーなどに参加して主体的に情報収集をする、といった取り組みです。また、特別支援学校の職場体験の受け入れなどを通して企業側が当事者について理解を深め、接し方を学ぶこともできます。あまり気負い過ぎず、「一緒に頑張ってくれそうな人」を探し持ちこたえていけば、結果的にマッチングもしやすくなるのではないのでしょうか。障害があってもなくても、自分らしく働ける社会になれば、企業の可能性ももっと広がるのではないかと感じます。

障害の有無に関わらず活躍できる社会へ



仲間からのMessage 1

お互いの強みを活かして、仕事に取り組める仲間です

視覚障害をもっているといわれて最初はとまどいましたが、一緒に働いてみると赤嶺さんは仕事に対する意欲が高く、とても助かっています。今では障害についても、ざっくばらんに話せる関係性がつくれていると思います。



仲間からのMessage 2

多様性への理解が深まり、指導者も成長できます

徳田さんのおかげで、私自身「多様性」への理解が深まり、指導方法などを見直す機会ができました。「これは難しいかな?」と思う作業でも、何度か挑戦させてみるとスムーズにできるようになり、日々成長を実感しています。

働く人の声

当事者 Voice 1

社会貢献をしながら自分自身も成長できる仕事

私は視覚障害をもっているのですが、社会貢献につながる業務に携わって日々やりがいを感じています。今後は経験を積んで知識を増やし、議事録作成の技術を向上させていきたいです。



やんばるセンター

当事者 Voice 2

ミスのないよう、丁寧に仕事に取り組んでいます

出勤簿の下処理や名刺の登録など、さまざまな業務がありますが、上司や仲間が、仕事のやり方を丁寧に教えてくれます。どれも他の社員を支える業務だという気持ちで、ミスをしないように心がけています!



本社

障害者雇用を実現するために大切にしている 3つのPOINT

POINT 1

一人ひとりに適した業務を提供

障害の状態や現状のスキルなどを確認した上で、一人ひとりの「働きやすさ」を考慮した業務の割り振りを意識しています。

POINT 2

障害を「特別視」しない職場づくり

個人に応じた合理的配慮は行いますが、仕事をする上ではあくまでも同じ目標に向かって一緒に働く「仲間」として接しています。

POINT 3

コミュニケーションツールの活用

「Teams」を活用してミーティングを行っています。当事者の皆さんの意見なども記録を残して、あとで確認や共有ができるようにしています。

私たちの仕事内容



議事録の作成



名刺の登録



出勤簿のチェック

01

障害者雇用
応援企業紹介

Information Communication Technology

ISCEC JAPAN

株式会社 アイセック・ジャパン

●雇用数:5名(全従業員87名中) ●障害をもった社員の内訳:男性2名、女性3名 ●障害区分:視覚障害、知的障害、精神障害、発達障害 ●障害者雇用率:5.7%(法定雇用率2.5% ※令和7年6月1日時点)

「株式会社アイセック・ジャパン」は、聴覚に障害をもっている方々を対象に、会議や講義、電話通話の音声内容を「文字」にして届けるサービスを提供しています。2008年の創業より、「声を文字にして世界へ」をスローガンに掲げ、社会貢献とビジネスを両立している会社です。もちろん自社の雇用に関しても、障害の有無に関わらず門戸を開いています。現在は5名の当事者の方々が弊社で活躍しており、障害の種類もさまざまです。

障害のある方を雇うにあたっては、一人ひとりに合わせた合理的配慮を行っています。例えば弊社には視覚障害をもっている社員がいますが、歩行の妨げにならないように社内の通路に物を置かないとか、什器の角にクッションをつけるといったことに気を付けています。ほかにも、個人の理解度に合わせた業務の指示を明確にするなど、現場の業務を円滑に進めるための工夫はしていますが、社内でも特別な制度を設けているわけではありません。あくまで「一緒に働く仲間」として「ミニケーション」をとっており、入社後の待遇も同等です。

合理的配慮のもとで 分け隔てない関係性を



<本社>

沖縄県うるま市宇字川崎468番地

いちゅい具志川じんぶん館

TEL 098-972-6888

FAX 098-987-5627



代表取締役社長

一瀬 宗也さん

弊社の事業が、もともと障害をもった方のQOL(生活の質)向上を目指していることもあり、私自身、障害をもっているという理由で壁をつくることはありません。「障害者雇用」において大切なのは、通常の採用と同様、当人と企業のマッチングだと考えています。例えば、弊社はPCを使うデスクワークがメインになりますので、車椅子利用者であってもタイピングスキルが高ければ十分に活躍できます。

弊社の実例を挙げますと、総務部で働いている徳田さんは、特別支援学校の仕事体験からスタートしました。大変明らかな、積極的な仕事に取り組み彼女のキャラクターはうちの社風に合っていると感じます。朝礼でも積極的に発言し、周囲を笑顔にしてくれるので、会社の雰囲気までも良くなりました。

視覚障害をもつ赤嶺さんは、議事録の作成を担当しています。片方の耳で議事録の音声聞いてタイピングし、もう片方の耳で入力した文字を読み上げるスクリーンリーディングを、自分が作成した議事録に間違いがないかチェックをしながら作業をしています。「視覚障害があるとタイピングの仕事は難しいのではなか」というのは、健康者が陥りやすい先入観だとも思います。もちろん見える人との感覚の違いや表記の誤差はありますが、本人の工夫や向上心によって解決できる部分が多いのです。他の社員のチェックも入ればしっかりと成果をあげており、赤嶺さんは弊社の戦力として活躍してくれています。